

札幌での避難生活と居住環境に関するアンケート 結果速報版 ver. 1.02

2011年6月27日
日本建築学会北海道支部・建築計画専門委員会

本速報版は、2011年6月27日時点での単純集計データです。改めて精査が必要な箇所や追加すべき設問もあり、後ほど細かい修正やクロス集計結果が入る予定ですので、ご了承ください。

この速報を対外的に使用される場合は、念のため野村までご連絡ください。

(北海道大学大学院工学研究院 建築計画学研究室 野村理恵 E-mail: nomurarie@eng.hokudai.ac.jp)

配布・回収状況

配布数 (2011年5月31日)	回収数 (2011年6月15日)	回収率
84*	54	約 64.29%

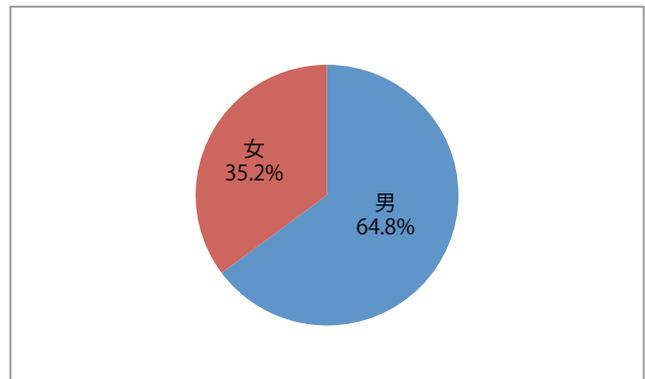
※2011年5月25日時点での札幌市営住宅へ避難入居された全世帯

■ 基本情報

問1-1 性別

項目	回答数	割合
男	35	64.8%
女	19	35.2%

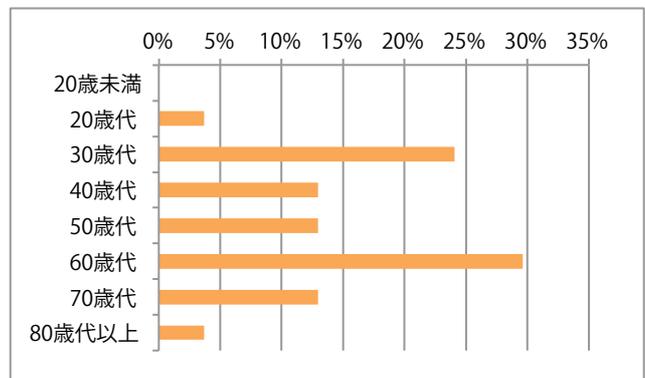
(N=54)



問1-2 年齢

項目	回答数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	2	3.7%
30歳代	13	24.1%
40歳代	7	13.0%
50歳代	7	13.0%
60歳代	16	29.6%
70歳代	7	13.0%
80歳代以上	2	3.7%

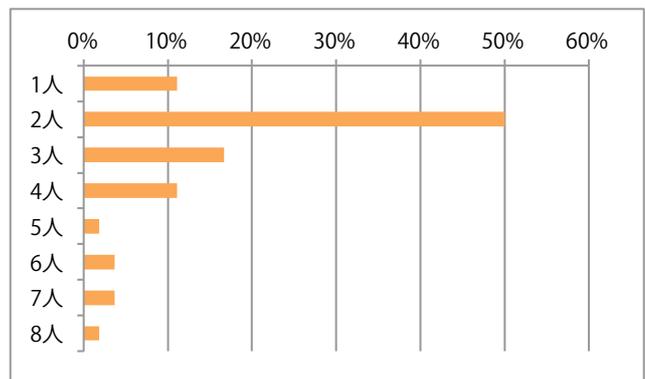
(N=54)



問1-3 同居人数 (本人含)

項目	回答数	割合
1人	6	11.1%
2人	27	50.0%
3人	9	16.7%
4人	6	11.1%
5人	1	1.9%
6人	2	3.7%
7人	2	3.7%
8人	1	1.9%

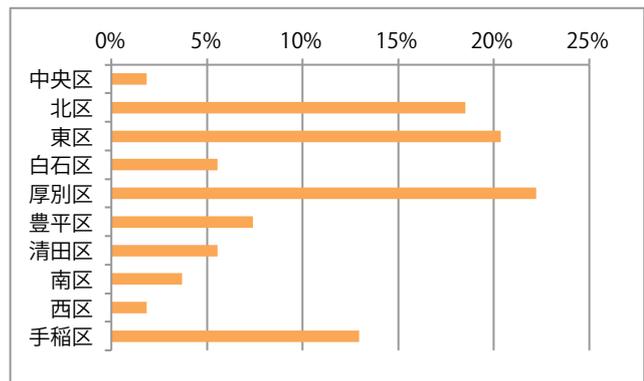
(N=54)



問1-4 現在、居住している区

項目	回答数	割合
中央区	1	1.9%
北区	10	18.5%
東区	11	20.4%
白石区	3	5.6%
厚別区	12	22.2%
豊平区	4	7.4%
清田区	3	5.6%
南区	2	3.7%
西区	1	1.9%
手稲区	7	13.0%

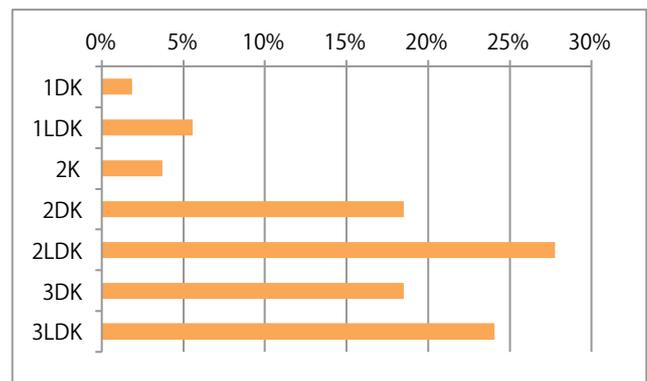
(N=54)



問1-5 現在、居住している市営住宅の部屋タイプ

項目	回答数	割合
1DK	1	1.9%
1LDK	3	5.6%
2K	2	3.7%
2DK	10	18.5%
2LDK	15	27.8%
3DK	10	18.5%
3LDK	13	24.1%

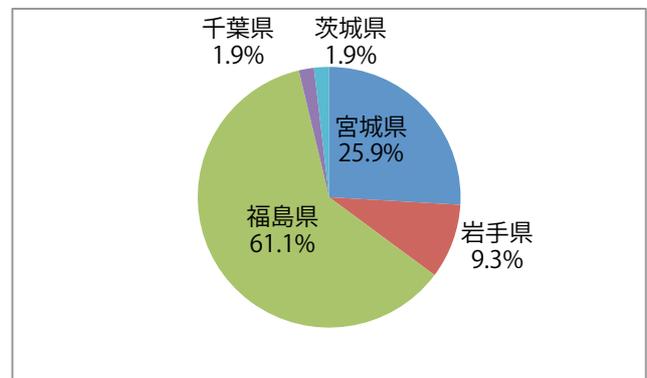
(N=54)



問1-6 どちらから札幌へ来ましたか

項目	回答数	割合
宮城県	14	25.9%
岩手県	5	9.3%
福島県	33	61.1%
千葉県	1	1.9%
茨城県	1	1.9%

(N=54)

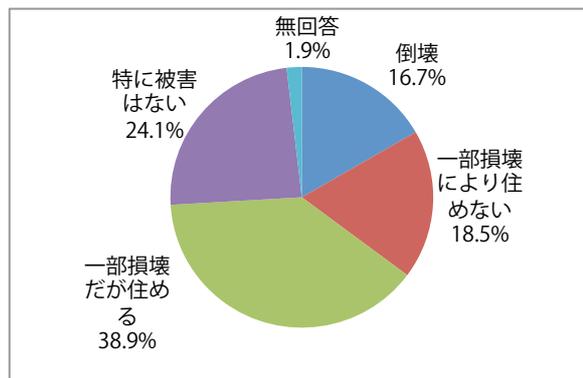


■ 札幌へ来る以前

問 2-1 地震による自宅の建物被害

項目	回答数	割合
倒壊	9	16.7%
一部損壊により住めない	10	18.5%
一部損壊だが住める	21	38.9%
特に被害はない	13	24.1%
無回答	1	1.9%

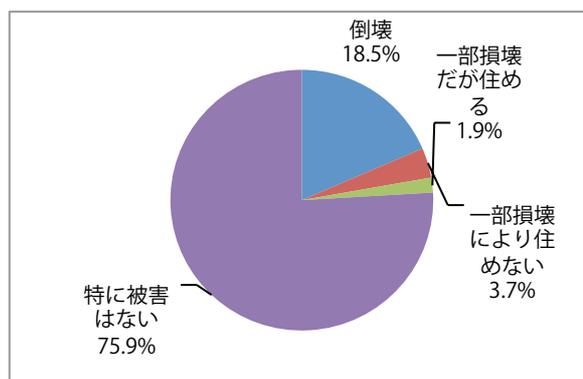
(N=54)



問 2-2 津波による自宅の建物被害

項目	回答数	割合
倒壊（流失・焼失）	10	18.5%
一部損壊により住めない	2	3.7%
一部損壊だが住める	1	1.9%
特に被害はない	41	75.9%

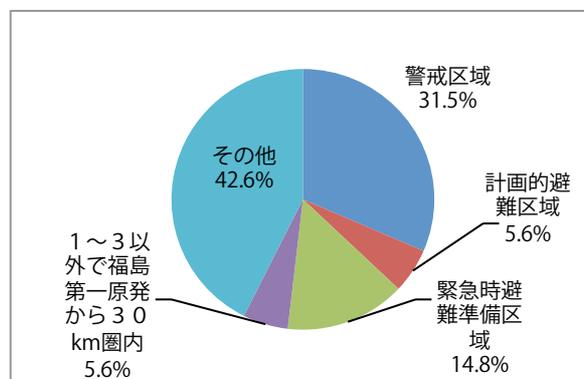
(N=54)



問 2-3 福島第一原発と自宅の位置

項目	回答数	割合
警戒区域	17	31.5%
計画的避難区域	3	5.6%
緊急時避難準備区域	8	14.8%
1～3以外で福島第一原発から30km圏内	3	5.6%
その他	23	42.6%

(N=54)



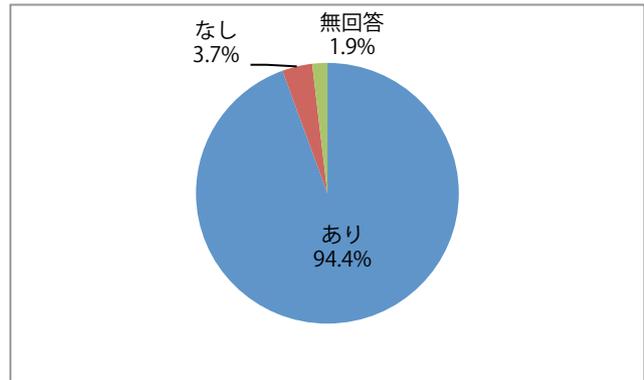
問 2-4 ※集計中

札幌での避難生活と居住環境に関するアンケート 結果速報版 ver. 1.02

問 2-5 3月11日の地震発生から札幌市営住宅に入居するまでに自宅以外へ避難した場所があるか

項目	回答数	割合
あり	51	94.4%
なし	2	3.7%
無回答	1	1.9%

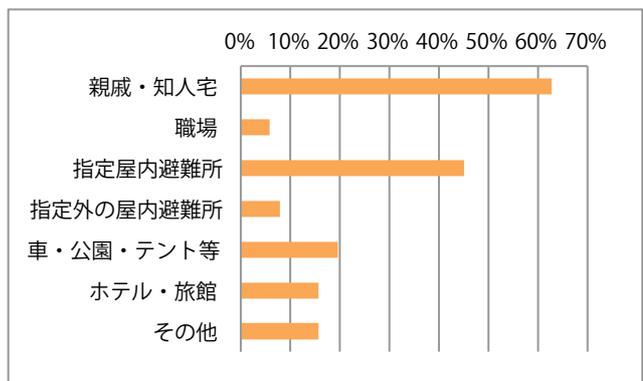
(N=54)



問 2-6 避難した場所 (MA)

項目	回答数	割合
親戚・知人宅	32	62.7%
職場	3	5.9%
指定屋内避難所	23	45.1%
指定外の屋内避難所	4	7.8%
車・公園・テント等	10	19.6%
ホテル・旅館	8	15.7%
その他	8	15.7%

(N=51)



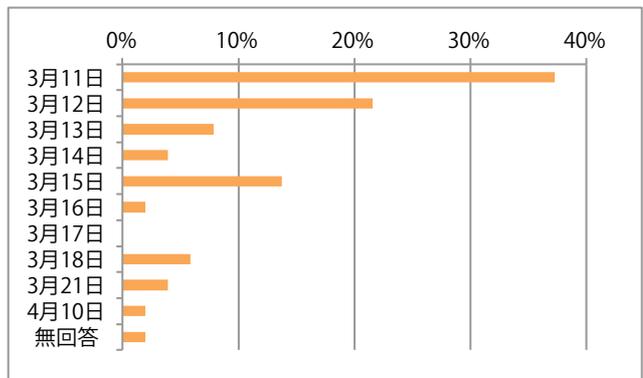
その他自由記述：

- ・お寺
- ・公民館
- ・会社が指定するホテル
- ・他人の家の木に登って助かり、その家に避難した。
- ・主人の出張先のアパート
- ・父親の会社の寮

問 2-7 避難した日

項目	回答数	割合
3月11日	19	37.3%
3月12日	11	21.6%
3月13日	4	7.8%
3月14日	2	3.9%
3月15日	7	13.7%
3月16日	1	2.0%
3月17日	0	0.0%
3月18日	3	5.9%
3月21日	2	3.9%
4月1日	1	2.0%
無回答	1	2.0%

(N=51)

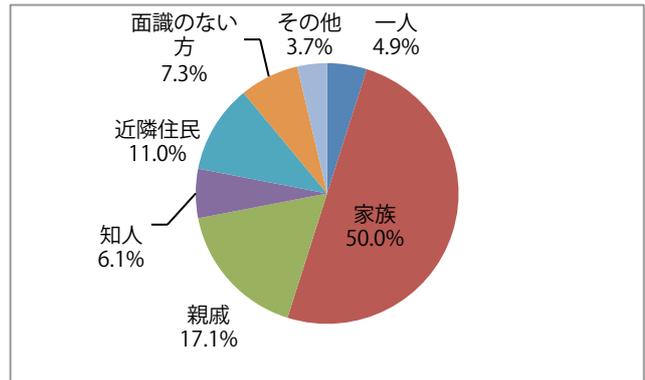


札幌での避難生活と居住環境に関するアンケート 結果速報版 ver. 1.02

問 2-8 避難した時に一緒にいた人 (MA)

項目	回答数	割合
一人	4	7.8%
家族	41	80.4%
親戚	14	27.5%
知人	5	9.8%
近隣住民	9	17.6%
面識のない方	6	11.8%
その他	3	5.9%

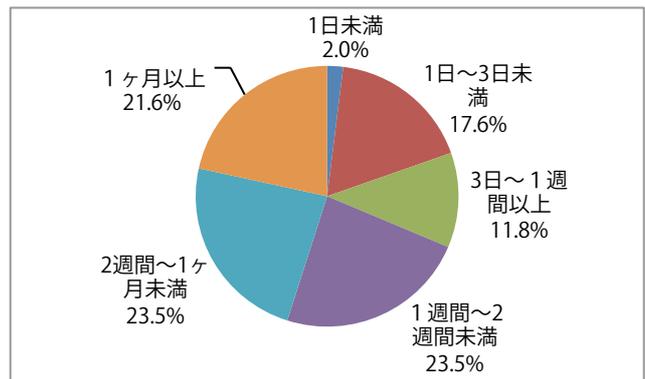
(N=51)



問 2-9 避難場所にいた期間

項目	回答数	割合
1日未満	1	2.0%
1日～3日未満	9	17.6%
3日～1週間以上	6	11.8%
1週間～2週間未満	12	23.5%
2週間～1ヶ月未満	12	23.5%
1ヶ月以上	11	21.6%

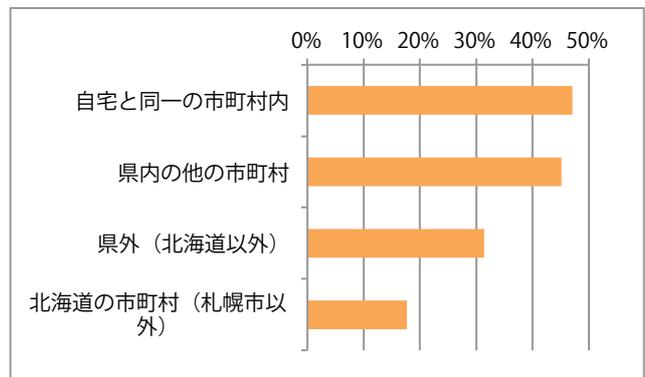
(N=51)



問 2-10 避難した地域 (MA)

項目	回答数	割合
自宅と同一の市町村内	24	47.1%
県内の他の市町村	23	45.1%
県外 (北海道以外)	16	31.4%
北海道の市町村 (札幌市以外)	9	17.6%

(N=51)

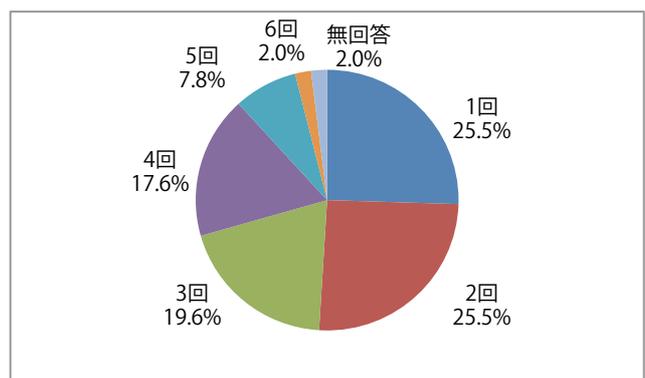


問 2-11 避難場所へ行った理由 ※集計中

問 2-12 札幌市営住宅に入居するまでに避難場所を移動した回数

項目	回答数	割合
1回	13	25.5%
2回	13	25.5%
3回	10	19.6%
4回	9	17.6%
5回	4	7.8%
6回	1	2.0%
無回答	1	2.0%

(N=51)



■ 札幌市へ来るときのこと

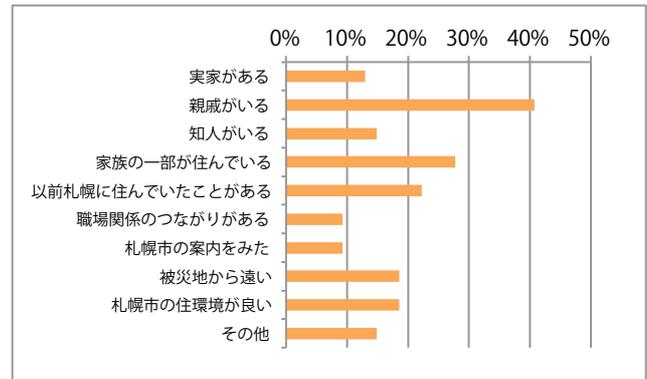
問 3-1 札幌市へ来ることを決めた日 ※集計中

問 3-2 札幌市へ来た日 ※集計中

問 3-3 札幌市へ来た理由 (MA)

項目	回答数	割合
実家がある	7	13.0%
親戚がいる	22	40.7%
知人がいる	8	14.8%
家族の一部が住んでいる	15	27.8%
以前札幌に住んでいたことがある	12	22.2%
職場関係のつながりが	5	9.3%
札幌市の案内をみた	5	9.3%
被災地から遠い	10	18.5%
札幌市の住環境が良い	10	18.5%
その他	8	14.8%

(N=54)



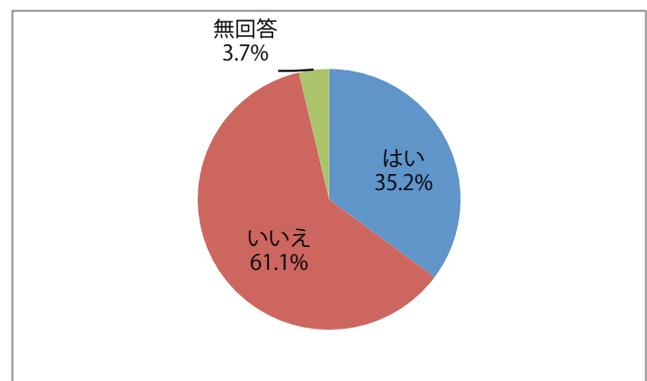
その他自由記述：

- ・避難入院
- ・透析をする病院がある
- ・子供世帯も避難して来ている
- ・住んでみたいところだった

問 3-4 札幌市以外への避難を検討したか

項目	回答数	割合
はい	19	35.2%
いいえ	33	61.1%
無回答	2	3.7%

(N=54)



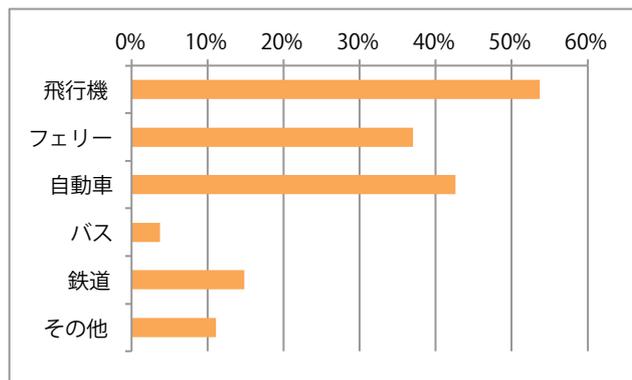
問 3-5 札幌市の他に避難を検討した地域

- ・北海道（旭川市 1、砂川市 1、小樽市 1、美瑛市 1、富良野町 1、どこでもよい 1）
- ・山形県（山形市） 1 ・宮城県（仙台市） 2 ・福島県（福島市 1、いわき市 1、会津若松市 3）
- ・新潟県（柏崎市） 1 ・茨城県（水戸市） 1 ・東京都（台東区 1、文京区 1）
- ・埼玉県 1 ・神奈川県（横浜市） 1 ・愛知県（一宮市） 1 ・熊本県（南阿蘇市） 1 ・鹿児島県 1
- ・沖縄県 2

問 3-6 札幌市へ来る際の移動手段 (MA)

項目	回答数	割合
飛行機	29	53.7%
フェリー	20	37.0%
自動車	23	42.6%
バス	2	3.7%
鉄道	8	14.8%
その他	6	11.1%

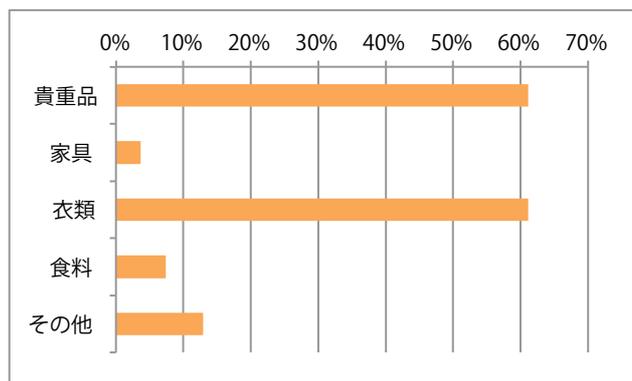
(N=54)



問 3-7 札幌市へ来る際に持って来たもの (MA)

項目	回答数	割合
貴重品	33	61.1%
家具	2	3.7%
衣類	33	61.1%
食料	4	7.4%
その他	7	13.0%

(N=54)



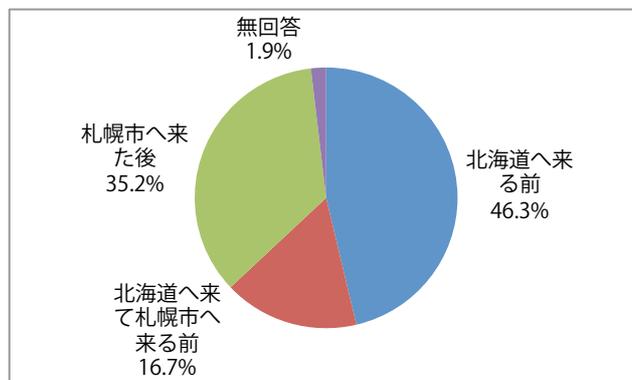
その他自由記述：

- ・着のみ着のまま ・身につけているもの ・身につ
- ・何も持って来ていない ・バグー一つだけ ・自転車 ・犬2匹

問 3-8 札幌市営住宅の情報を知った時期

項目	回答数	割合
北海道へ来る前	25	46.3%
北海道へ来て札幌市へ来る前	9	16.7%
札幌市へ来た後	19	35.2%
無回答	1	1.9%

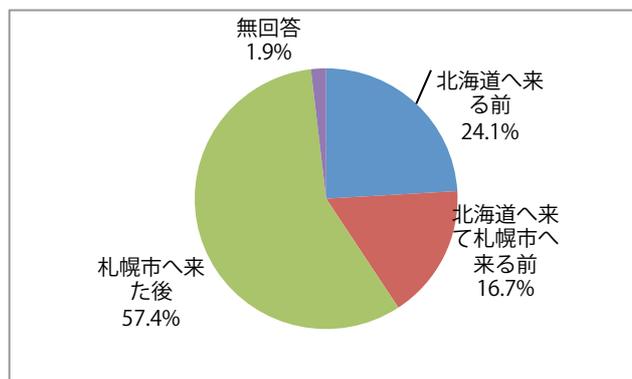
(N=54)



問 3-9 札幌市営住宅への入居を決めた時期

項目	回答数	割合
北海道へ来る前	13	24.1%
北海道へ来て札幌市へ来る前	9	16.7%
札幌市へ来た後	31	57.4%
無回答	1	1.9%

(N=54)

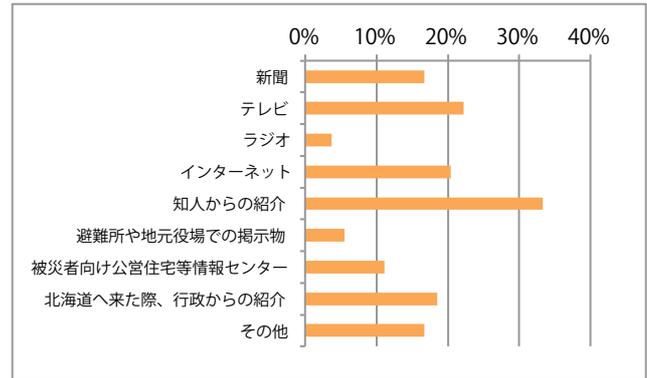


札幌での避難生活と居住環境に関するアンケート 結果速報版 ver. 1.02

問 3-10 札幌市営住宅の情報入手先 (MA)

項目	回答数	割合
新聞	9	16.7%
テレビ	12	22.2%
ラジオ	2	3.7%
インターネット	11	20.4%
知人からの紹介	18	33.3%
避難所や地元役場での 掲示物	3	5.6%
被災者向け公営住宅 等情報センター	6	11.1%
北海道へ来た際、行政 からの紹介	10	18.5%
その他	9	16.7%

(N=54)

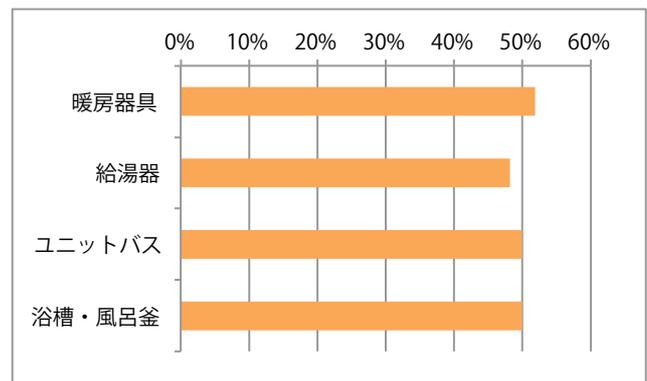


■ 札幌市へ来た後

問 4-1 もともと部屋に備え付けられていた設備 (MA)

項目	回答数	割合
暖房器具	28	51.9%
給湯器	26	48.1%
ユニットバス	27	50.0%
浴槽・風呂釜	27	50.0%

(N=54)

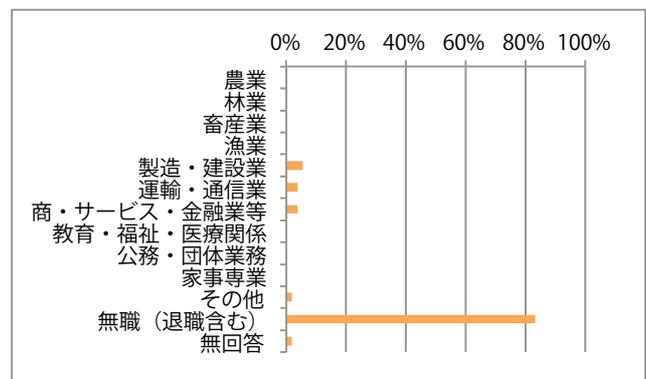


問 4-2 市営住宅入居後、新たに購入したもの ※集計中

問 4-3 北海道での現在の職業

項目	回答数	割合
農業	0	0.0%
林業	0	0.0%
畜産業	0	0.0%
漁業	0	0.0%
製造・建設業	3	5.6%
運輸・通信業	2	3.7%
商・サービス・金融業等	2	3.7%
教育・福祉・医療関係	0	0.0%
公務・団体業務	0	0.0%
家事専業	0	0.0%
その他	1	1.9%
無職 (退職含む)	45	83.3%
無回答	1	1.9%

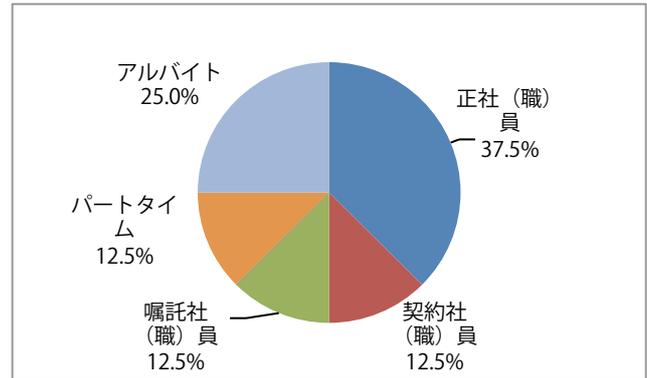
(N=54)



問 4-4 現在の勤務形態

項目	回答数	割合
正社（職）員	3	37.5%
契約社（職）員	1	12.5%
嘱託社（職）員	1	12.5%
非常勤社（職）員	0	0.0%
派遣社（職）員	0	0.0%
パートタイム	1	12.5%
アルバイト	2	25.0%
その他	0	0.0%

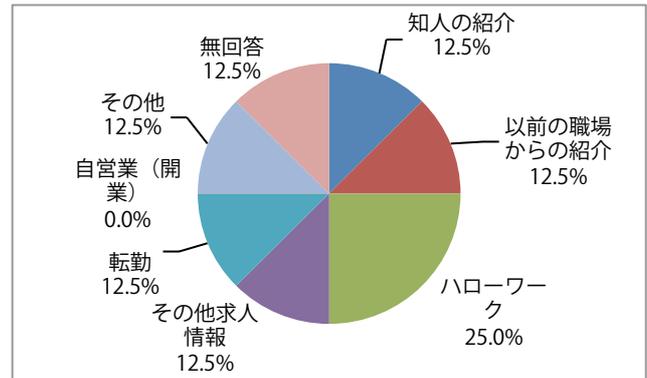
(N=8)



問 4-5 現在の職場の探し方 (MA)

項目	回答数	割合
知人の紹介	1	12.5%
以前の職場からの紹介	1	12.5%
ハローワーク	2	25.0%
その他求人情報	1	12.5%
転職	1	12.5%
自営業（開業）	0	0.0%
その他	1	12.5%
無回答	1	12.5%

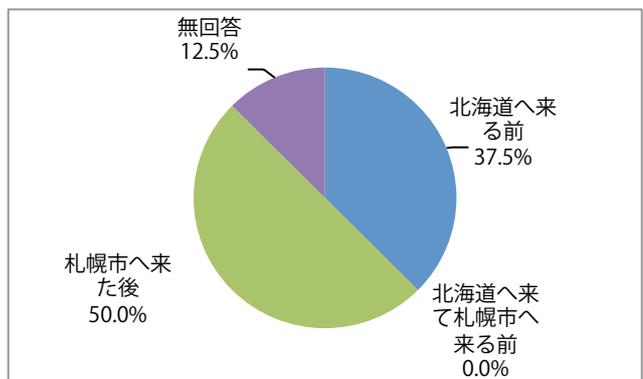
(N=8)



問 4-6 職場が見つかった時期

項目	回答数	割合
北海道へ来る前	3	37.5%
北海道へ来て札幌市へ来る前	0	0.0%
札幌市へ来た後	4	50.0%
無回答	1	12.5%

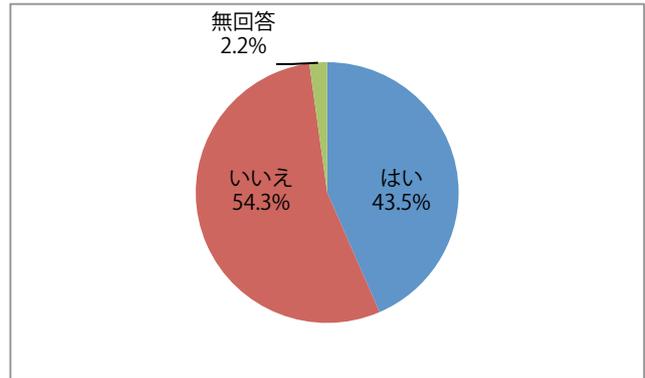
(N=8)



問 4-7 現在、就職先を探しているか

項目	回答数	割合
はい	20	43.5%
いいえ	25	54.3%
無回答	1	2.2%

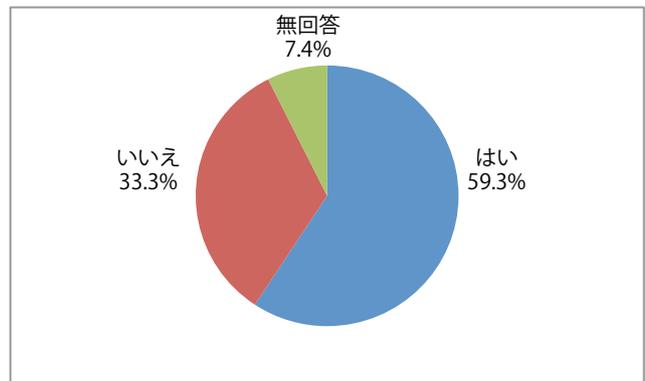
(N=46)



問 4-8 現在、同居家族が札幌市内の病院に通院しているか

項目	回答数	割合
はい	32	59.3%
いいえ	18	33.3%
無回答	4	7.4%

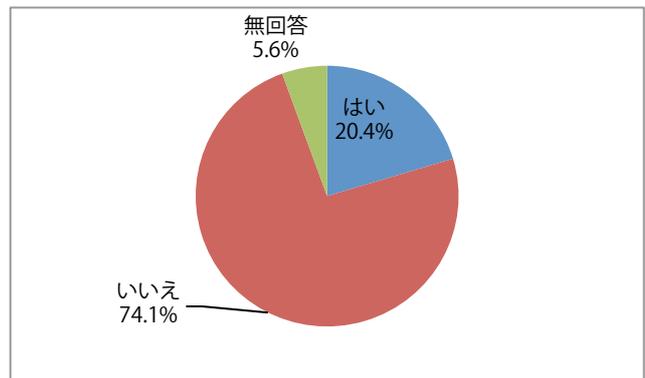
(N=54)



問 4-9 現在、同居家族が札幌市内の学校に就学しているか

項目	回答数	割合
はい	11	20.4%
いいえ	40	74.1%
無回答	3	5.4%

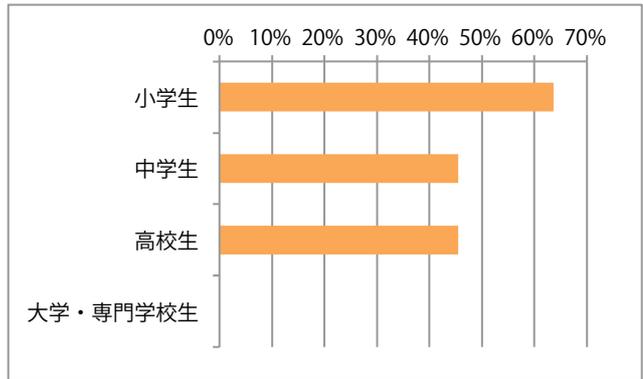
(N=54)



問 4-9' 札幌市内でどの学校に就学しているか (MA)

項目	回答数	割合
小学生	7	63.6%
中学生	5	45.5%
高校生	5	45.5%
大学・専門学校生	0	0.0%

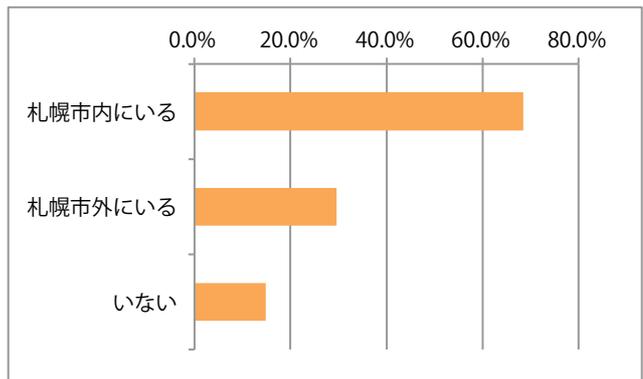
(N=11)



問 4-10 現在、北海道内で連絡をとっている家族や親戚 (MA)

項目	回答数	割合
札幌市内にいる	37	68.5%
札幌市外にいる	16	29.6%
いない	8	14.8%

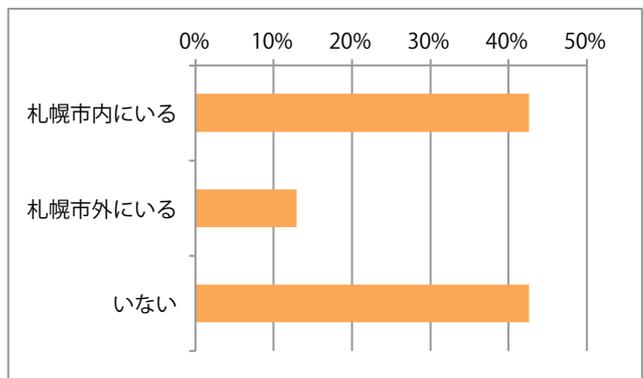
(N=54)



問 4-11 現在、北海道内で連絡をとっている人 (家族、親戚以外) (MA)

項目	回答数	割合
札幌市内にいる	23	42.6%
札幌市外にいる	7	13.0%
いない	23	42.6%

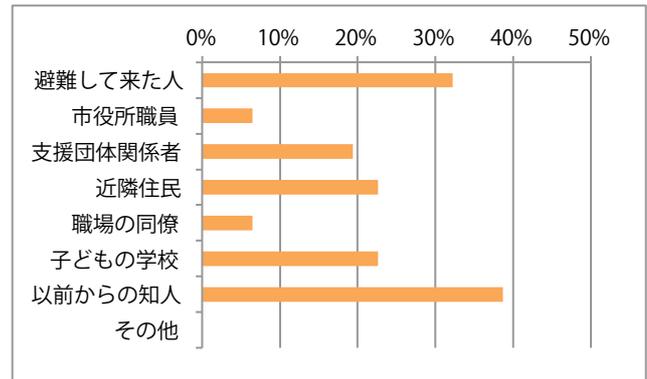
(N=54)



問 4-12 知り合ったのはどのような人か (MA)

項目	回答数	割合
避難して来た人	10	32.3%
市役所職員	2	6.5%
支援団体関係者	6	19.4%
近隣住民	7	22.6%
職場の同僚	2	6.5%
子どもの学校	7	22.6%
以前からの知人	12	38.7%
その他	0	0.0%

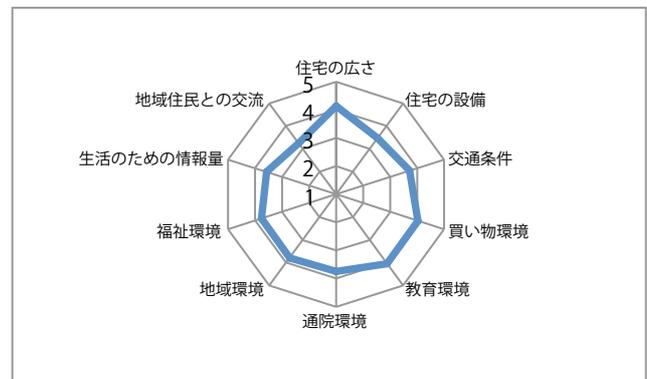
(N=31)



問 4-13 現在の住宅や生活環境の評価

項目	平均値
住宅の広さ	4.13
住宅の設備	3.47
交通条件	3.71
買い物環境	4.04
教育環境	4.04
通院環境	3.75
地域環境	3.79
福祉環境	3.78
生活のための情報量	3.57
地域住民との交流	3.24

(N=54)



問 4-14 ※集計中

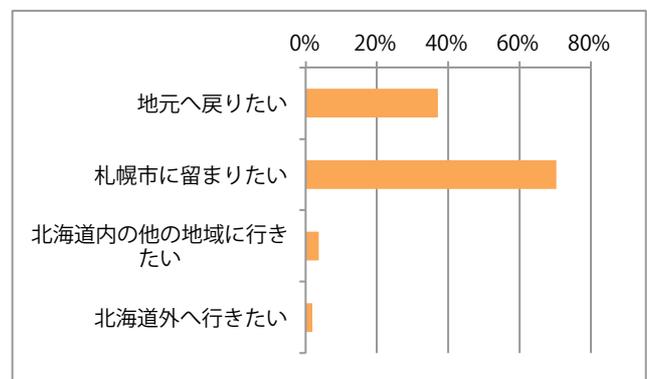
問 4-15 ※集計中

■ 今後の意向

問 5-1 現時点で、今後の居住地についてどのように考えているか (MA)

項目	回答数	割合
地元へ戻りたい	20	37.0%
札幌市に留まりたい	38	70.4%
北海道内の他の地域に行きたい	2	3.7%
北海道外へ行きたい	1	1.9%

(N=54)



問 5-2 その理由

■ 地元へ戻りたい

- ・ 持ち家があるため(宮城県、30代男性)
- ・ 仮設住宅が地元近くに出来れば入居して今後どうするか考えてみたい。(宮城県、60代男性)
- ・ 残っている家族が心配。(福島県、30代女性)
- ・ 知人や親戚がいる。(千葉県、40代男性)
- ・ 住み慣れた土地でもあり地域の人たちと交流を深めたい。(福島県、60代男性)
- ・ 生まれ育った故郷だから(福島県、70代男性)
- ・ 自宅及び生活用品等がそのままの状態です。3月11日避難以来戻れる状況になれば戻りたい。(福島県、60代男性)
- ・ 地元に戻れば仕事を再開できる。(福島県、40代男性)

■ 札幌市に留まりたい

- ・ 職があるため(宮城県、30代男性)
- ・ 地元が復旧していない。仮設住宅に入れたい。(宮城県、60代男性)
- ・ 息子夫婦手稲在住。札幌に完全移住を決めた。現在の市営住宅に継続して居住したい。(宮城県、)
- ・ 人が温かくて住みやすいです。(岩手県、40代女性)
- ・ 以前札幌に住み、親戚もおり、地震が少ない地である札幌に留まる。(宮城県、60代男性)
- ・ 地元へ戻りたくても戻れない。流された場所に家を建てることは自由にできないし金もない。73歳ですから、札幌に留まりたいのではなく、留まるしかないと思う。(岩手県、70代男性)
- ・ 北海道札幌を中心に働きたいと思っています。仙台へ戻っても何もすることも身よりもないので住む気にはなれません。(宮城県、50代女性)
- ・ 子供が近くにいます。(宮城県、60代男性)
- ・ 71歳で家を建てる気にはならない。息子夫婦や孫2人が近くに住んでいる。(岩手県、70代男性)
- ・ 地元の環境がすっかり変わり、住めるような状態ではないため。次男の希望もあり、当地に永住を考えている。(宮城県、70代男性)
- ・ 身内や友人がいて心強い。また仙台で生活するのが不安。札幌の方が住みやすい。(宮城県、30代女性)2
- ・ 仙台は地震が怖い。(宮城県、40代男性)
- ・ 子供たちがいる。子供は北大を卒業しています。(宮城県、60代男性)
- ・ 孫の面倒を見なくてはならない。(福島県、50代男性)
- ・ 安全で子供がすごく気に入っているので(福島県、30代女性)
- ・ 子供も新しい学校に慣れ友達もでき、毎日明るく笑って暮らしているから、少しずつ生活も慣れ始めているのでまたいちからでは何かと大変だから。(福島県、30代女性)
- ・ 原発事故のため避難。元々子供が呼吸器系の持病があるため、収束してもしなくても放射能が飛散した土地に戻るつもりは更々ない。(福島県、30代女性)
- ・ 原発が落ち着かないため、子供優先で考えていきたい。(福島県、70代男性)
- ・ 娘が2人いるため、もう他は考えていない。(福島県、60代女性)
- ・ 家内が妊娠中で毎日地震、津波、原発の夢を見ているようです。北海道は比較的不安要素が少ないため。病院の多い札幌市が一番よいと思っています。正直、雪は不安ですが。(福島県、30代男性)
- ・ 原子力の問題(福島県、20代男性)
- ・ 地元に戻りたい気持ちはありますが、第一種の身体障害者の身であり札幌市役所のあたたかい支援が嬉しく思います。この先、札幌市に住みたく思っております。(福島県、60代男性)
- ・ 以前に札幌に住んでいたことがあるので。(福島県、60代男性)
- ・ 子供の学校があり卒業するまでは住んでいたい。戻っても仕事がない。(福島県、50代男性)
- ・ とても住みやすい。人が親切。便利。花がきれい。いろいろ便利。本屋が近い。公園がきれい。緑がきれい。(福島県、60代男性)

札幌での避難生活と居住環境に関するアンケート 結果速報版 ver. 1.02

- ・ 現在の生活に満足している。(福島県、50代女性)
- ・ 子供が小さいので原発の近くにもどりたくないし自分も嫌です。食べ物、水、全てが不安。もう移動もいたくない。(福島県、30代男性)

■迷い中

- ・ 冬の寒さが不安(宮城県、70代男性)
- ・ 津波で自宅は全壊して、以前住んでいた地域は今後どうなるのかわからないができれば自分が生まれ育った岩沼市近郊に住みたい。宮城も北海道には劣るけど自然が豊かで住むのによいところだったから。宮城に戻れないなら札幌(北海道)で今後生きていきたいから。(宮城県、30代男性)
- ・ 主人を福島に残して来ているので原発の収束を待ちつつ今後を判断したい。(福島県、20代女性)
- ・ 放射能が消えれば地元に戻りたい。放射能が国で安全宣言指示が出なければ札幌市に留まりたい。(福島県、60代男性)
- ・ 地元には自宅がありローンものこっているから。札幌には福島で一緒に暮らしていた主人の両親が避難しているので、今後は札幌で又一緒に暮らしたいと思っている。(福島県、50代女性)
- ・ 地元には戻りたいが子供のことを考えると放射能が怖い。地元にはまだ家もあり、家具や衣類、色々なものが残されている。(福島県、30代女性)
- ・ 原発の状況次第(福島県、30代男性)
- ・ 全くわからない。原発と就職の問題の解決ができれば地元に戻りたいが、就職がなければ北海道でさがして、あれば留まりたい。(福島県、50代女性)
- ・ 自宅のある地元に戻りたいと思う反面、戻っても働き先があるかという不安がある。札幌市で再就職が可能ならば留まりたいとも思っている。大変悩んでいる状態である。(福島県、40代男性)
- ・ 原発の状況によっては帰れないかもしれない。そのときは札幌に留まりたい。(福島県、60代男性)
- ・ 1、汚染がなくなれば戻りたい。 2、戻る事を考えないで穏やかな暮らしを築きたい。 3、都会すぎてあわない。 4、泊原発が推進に向かっている。突然おこる事を経験しているし、県や市、国の対応を知っているから。(福島県、30代男性)

問 5-3 今後の居住地はいつ決めたいと考えているか(MA)

項目	回答数	割合
半年以内に決めたい	2	3.7%
1年以内に決めたい	12	22.2%
子どもの就学状況に合わせて決めたい	8	14.8%
仕事の状況で決めたい	8	14.8%
期間は設けず状況をみて判断したい	26	48.1%
このまま市営住宅に住みたい	18	33.3%
その他	2	3.7%

(N=54)

